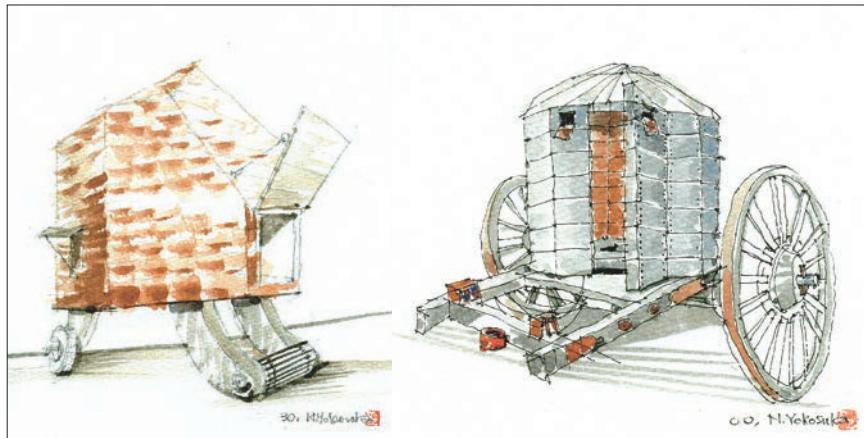


(2018-19年度 国際ロータリー・テーマ)



インスピレーションになろう



「新旧安神車」(水戸市)

## 私を待つ人がいる

中村 三喜 (私立学校)

タイトルは、あの阪神大震災があった1995年の12月に「人権を考える市民の集い」での高石ともや氏の演題です。私はその講演を聞いて以来「私を待つ人」ということにこだわりを持ち続けている。

彼は「人間が生きていけるのは、待っている人がいるからだ」と言い、「待っている人がいないと人間は生きる意味を失う」と言う。

家には、私を待つ母がいる。教室には、私を待つ友達がいる。学校には、私を待つ先生がいる。あの角の向こうには、私を待つ恋人がいる。電話の向こうには、私の声を待つ大切な人がいる。遠くの田舎には、私の成長を喜ぶ、おばあちゃんやおじいちゃんがいる。このように、自分を待ってくれている人がいれば、人間は大丈夫だと言うのです。

彼は、こんなことも言っています。とってもつらくて死にたいと思った時、それを聞いてくれて「たいへんだったね」と一声かけてくれる友達がいれば、その重荷がスーと消えていくと。また、うれしい時に「うれしい

と話せ、「よかったな」と一声かけてくれる友達がいれば、心が和み、希望に胸が膨らむのだと。

こんなふうに、一緒に悲しみ・喜び、自分を待ってくれる人がいれば、大丈夫なのです。幸せに生きていけるのです、と彼は言うのです。

一方、本校に目を向ければ、生徒を待つ人はいるのだろうか。生徒は楽しんでいるだろうか。不運に出合わなかっただろうか。悩みを隠していないだろうか、と教職員は心配りをしている。また、生徒の輝く目を見たい。弾けるような笑顔を見たい。躍動する姿を見たい。そして、あの生徒もこの生徒も、友達と明るく交わる姿を思い描いているのです。

だからこそ私達は、すべての生徒に「生きる力」を育む教育を目指さなければと強く思っています。百人百色の生徒のすべてに「幸せの風」が吹くことを願っているからです。

高石ともや氏は、最後に笑顔で「幸せになるために、私達は生まれてきたんですよ」と話されて、講演を締めくくりました。

No. 17 2018・10・30

1951年3月6日設立  
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階  
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825  
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mitо-rc.jp/>

**水戸ロータリークラブ**

■会長 牧 厚志 ■幹事 二川 泰久

■例会日  
毎週火曜日・12時30分  
常陽銀行本店8階

## 【卓 話】 挿絵について

横須賀満夫 会員（設計）



今年の挿絵の題材は水戸東照宮に納められた安神車をイメージの基本とした茶室の挿絵です。以前も描いたものですが安神車というのは徳川斉昭が作った戦車であります。この戦車は人が2人入りま

して穴から小銃を出して敵を撃つものです。中の床には排泄用に備えた装備があり素晴らしいものですが現在は錆がひどい状況ですが錆をとらないものが一つの魅力かもしれません。動力は牛に引かせたものです。ですから相手から小銃を向けられましたら人よりも先に牛がやられてしまうのではないかと思います。そのようなことから考えますと斉昭が尊王攘夷の意を高めるために考案したものではないかと考えます。現在放映されている大河ドラマと照らし合せて見ていただくと面白いものと思います。

この安神車をスケッチさせていただきました絵を建築家の藤森照信氏に見ていただきました。去年は藤森氏の作品展を水戸芸術館で開催しておりました。その際、水戸東照宮をご覧頂きこの安神車の素晴らしさに感銘を頂きました。そこで藤森氏は第2の安神車として動く茶室を作られました。それが右側の絵になります。外側は戦車に似せて銅板を鎧状に張ってあり現代の工芸品としてとても素晴らしいものです。そこで水戸東照宮の宮本宮司さんと一緒に藤森氏の展覧会に行き、この新安神車を何とか水戸東照宮にお譲り頂けないかと考え、当時の芸術館副館長の大津さんを通じて恐る恐る申し入れました。藤森氏はこの新安神車を長野のご自分のアトリエに飾るご予定でした。当然返事も頂けず、藤森さんに面識があるといつても不躾なお願いに恥ずかしい思いが募るばかりでした。その後、藤森氏からお会いしたいという連絡が入りました。新安神車を置く場所を見せてほしいということでした。新安神車は絵に見るよりも大きいものですから東照宮の玄関からも入らないほどです。入れても置く場所に苦労するほど

大きさのため無理ではないかと思うほどです。そこで宮本宮司さんに入る建物を造ってほしいといいましたが簡単には返事を頂けませんでした。藤森氏と私で何処にどの様に置いたら良いかを模索したことを覚えています。そして何とか置く建物を造っていただいたのが現在の場所です。将来的には藤森氏のデザインで素晴らしいものを設計頂く予定になっています。水戸東照宮と宮下銀座を通して将来の宝物としての新旧安神車ですから水戸市のまちづくりのきっかけとなり景観等に活かしていただければと思います。今の若い女性はこのような作品を目当てにたくさん見に来ているそうです。皆さんも素晴らしいものですので一度はご覧になってください。

次に例会の出席についてお話しさせていただきます。本日の出席率は67%ということですが昔は60%台というのはあり得ないことでした。ロータリーというのは個人の意思を持った人たちのクラブですので出席が無ければ会員としての資格が無いということです。基本は出席ですので水戸ロータリークラブは毎週火曜日出席できることを前提に入会されているはずです。そのような中で出席できないというのはあり得ないと思います。出席率60%というのが会員としての資格の最低限度です。昔は60%を達成しない会員は自動的に退会ということでしたが21年度の規定審議会で4週連続での欠席で退会したいという意思表示とみなし本人に通知した後、理事会で審議の上、退会にできることになっていますので理事会の義務としてやつていただきたいと思います。

出席率の低いメンバーが入会後10年未満の人が多いと思います。是非こういう方々はロータリーに身をおいて研修していただきたい。将来は地域のリーダーになる方々ですのでよく考えてほしいと思います。また、推薦者の方は是非本人に連絡をして出席いただけるようお話しを頂きたいと思います。

また、先週の水戸市内6RC合同例会には水戸ロータリークラブからの出席が44名でした。水戸のリーディングクラブとしてとても恥ずか

しいと思います。主催していただいているクラブのために率先して参加するべきだと思いますのでもう一度そこのところを理事会としても考えていただきたい。

私は39年間100%出席です。早く表彰してい

ただきたいと思っていますがなかなか思うようにはいきません。毎年100%出席の際に記念品を頂きます。この記念品も心のこもったものであれば出席への意欲にも繋がると思います。是非そのようなことも考えていただきたいと思います。

## 例会報告

10月第5例会

司会 松本委員

### ◇ ビジター紹介

しもだて紫水R C 中村兵左衛門 会員  
水戸東R C 河原 聖直 会員

ので本日皆様方に招待券をお持ちいたしました。分区も違い交流する機会も少ないですが今後も交流していきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

### ◇ マルチプル・ポール・ハリスフェローピン伝達

牧会長より、大久保博之会員・内藤 学会員には、マルチプル・ポール・ハリス・フェローピン（第2回）が手渡されました。

### ◇ 新会員紹介

○関 優君（銀行業）S 32.12.13生  
株常陽銀行 専務取締役



この度、歴史と伝統ある水戸ロータリクラブに入会させていただきまして誠にありがとうございます。昭和32年12月13日生まれ、昨年還暦を迎える今年61歳になります。

血液型はO型です。奥さんと娘、息子が一人ずつおります。子供たちは独立していますので現在は家内と二人で常磐町に暮らしています。入会させていただきましたのでこれから積極的に活動していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

（推薦者 加藤会員、大久保会員）

### ◇ しもだて紫水R C会長挨拶

しもだて紫水R C 中村兵左衛門 会長



先月11日に井上パストガバナーにしもだて紫水R Cにお出で頂き、本職の焼き物のお話しをしていただきました。

その際、板谷波山さんの話が出来ました。板谷波山さんは20世紀陶芸界の頂点に立つ巨匠と称される方です。昭和28年には工芸家としては初の文化勲章を受章し、翌29年には日本画家、水戸出身の横山大観と共に茨城県の名誉県民の第1号となられた方です。10月6日から板谷波山記念館で特別展をしておりまして、井上パストガバナーも是非ご覧になりたいということでした

### ◇ 会長の時間

＜東京ひとり食べ歩記＞  
11月 神田三大蕎麦処編

牧会長

神田には有名な老舗そば屋が3店あり、淡路町と須田町そして室町とそれぞれに地名を分けている。老舗の重厚な木造建築が立ち並ぶ一画、創業1880年のかんだやぶそばのある所は淡路町。まずは合鴨と根深（長ネギ）を鴨の脂で炒めたあいやきで生ビールをごくり。次に芝海老を高温の濃口胡麻油でかき揚げにした天たねを、ちょっとつゆにつけてシャリシャリ。口中に香りが立ち、きわめて旨し。締めは薄緑色の外1

(そば10対つなぎ1) のせいろそば。つなぎに卵を使っていて、つるつると滑るように喉ごしが良い。キリリとした辛口のダシの香り高いたれと本山葵をつけて口へ。あつという間になくなってしまったが、これが不思議と贅沢な気分になるのである。

須田町にあるのが神田まつや。といつてもすぐ近くにある。創業は1884年。大正時代の建物で、池波正太郎をはじめ数々の著名人が足を運んでいる。焼いた鶏のもも肉に発酵させたそばつゆのかえしをまぶした焼鳥をアテに、菊正宗の特選を熱燶でちびり。外2の手打そばもいいが、夏場のごまそばがいい。ここは合席が普通。老舗には歴史の中で出来てきた流儀がある。その流儀に従って常連気分になるのも悪くない。

神田駅を反対側に出て、今川橋を過ぎ室町4丁目にある室町砂場は1869年創業。落ちついだ料亭風のたたずまい。小上りにひとり座を構え、純米酒蔵人の冷酒を超薄口の冷えたグラスに注ぐと、つまみも待たずにスイスイと進んでしまう。正油味がしっかりの玉子焼き、タレが完璧に旨い焼き葱、そして皮付きもも肉の焼き鳥とどれも酒を飲めときさやく。気が付いたら冷酒のおかわりをしていた。ここは天ざる発祥の店。熱いつゆの中にかき揚げがすでに入っていて、真白なさらしなそばをつゆに入れてかき揚げと一緒に食す。

江戸時代の寿司屋は酒を出さなかったが、蕎麦屋は酒を出していた。その文化が今でも残っていて、飲んだ後の締めとしてそばを食べるため、量は少なくていいらしい。満腹感を感じるまで食べないのが、古来日本人の流儀と気取つてみるか。

#### ◇出席報告

八文字委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
112名	71名	41名	67.62%

前週訂正出席率 57.84%  
前々週訂正出席率 76.19%

#### ◇にこにこBOX

谷川委員長

関会員……本日より入会させていただきます。

よろしくお願い申し上げます。

大久保会員……本日入会します関会員をよろしくお願い申し上げます。

横須賀(満)会員……第3分区チャリティ親睦ゴルフ大会、都合により欠席しました。その折の返金です。

内藤会員……関くん、ようこそ水戸ロータリークラブへ。

櫻場会員……関さん、入会おめでとうございます。

佐藤会員……良い事がありました。

成田(誠)会員……同好会ゴルフで優勝していました。ありがとうございました。

高貴会員……昨夜は大変有意義な研究会に参加しました。特に藤田卓也先輩には、多くの事をお教えいただきました。ありがとうございました。

渡邊会員……バースデープレゼントありがとうございました。無理のきかない歳となりました。

谷川会員……ポール・ハリス・フェローピンを頂きました。ありがとうございました。

本日の合計	10件	55,000円
10月の合計	52件	290,000円
累計	198件	1,153,000円



週報担当 片岡 宗嚴 委員長

#### 例会予告

11月13日(火)

—イニシエーションスピーチ—

卓話「鉄道の現状と未来

(JR東日本の事例をもとに)

雨宮 慎吾 会員

11月20日(火) 18:30

於 三の丸ホテル

卓話「クラシックの夕べ」

ヴァイオリン 川合 祐子 氏

ピアノ 遠藤 桃子 氏

11月27日(火)

卓話「ロータリー財団月間に因んで」

地区ロータリー財団補助金委員

宇留野秀一 氏 (水戸南R C)